

# 訪問看護の実態調査 質問票(案)

参考資料4-2

貴事業所について、以下の質問にお答えください。

※この調査では、40歳以上の方(居住地不問)に対するサービス提供状況についてお答えください。

1 事業所名をお書きください。

事業所名

2 事業所開設からの年数(平成28年5月末時点)について、選択肢から1つ選び、番号をご記入ください。

①5年未満、②5～10年未満、③10～15年未満、④15年以上

3 事業所の所在地について、選択肢から1つ選び、番号をご記入ください。

① JR以南地域	寿町,中の島町,西御旅町,東御旅町,内本町,元町,朝日町,清和園町,南清和園町,川岸町,高浜町,南高浜町,昭和町,高城町,末広町,日の出町,川園町,吹東町,幸町,南正雀,目俵町,平松町
② 片山・岸部地域	西の庄町,片山町,上山手町,原町,出口町,藤が丘町,朝日が丘町,天道町,山手町,岸部南,岸部中,岸部北,芝田町
③ 豊津・江坂・南吹田地域	泉町,金田町,南金田,南吹田,穂波町,垂水町,江坂町1～4丁目,豊津町,江の木町,芳野町,広芝町
④ 千里山・佐井寺地域	千里山霧が丘,千里山星が丘,千里山虹が丘,千里山月が丘,千里山東,千里山西,千里山松が丘,竹谷町,佐井寺南が丘,佐井寺,千里山高塚,春日,千里山竹園,円山町,五月が丘西,五月が丘南,江坂町5丁目,五月が丘東,五月が丘北
⑤ 山田・千里丘地域	山田東,山田西,山田南,山田北,櫻切山,山田市場,尺谷,千里丘上,千里丘中,千里丘下,千里丘西,千里丘北,長野東,長野西,新芦屋上,新芦屋下,清水,青葉丘南,青葉丘北
⑥ 千里ニュータウン・万博・阪大地域	佐竹台,高野台,津雲台,桃山台,竹見台,古江台,青山台,藤白台,上山田,千里万博公園,山田丘

4 職員の配置状況について、下表に人数をご記入ください。

a)常勤	実数※	訪問看護経験年数		
		1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
記入例)看護師・保健師・助産師	3名	0名	1名	2名
1) 看護師・保健師・助産師				
2) 准看護師				
3) 理学療法士				
4) 作業療法士				
5) 言語聴覚士				
6) 事務職員				

※実数の人数と訪問看護経験年数の人数は一致させてください。

b)非常勤	実数※	常勤換算数	訪問看護経験年数		
			1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
記入例)看護師・保健師・助産師	5名	4名	2名	1名	2名
1) 看護師・保健師・助産師					
2) 准看護師					
3) 理学療法士					
4) 作業療法士					
5) 言語聴覚士					
6) 事務職員					

※実数の人数と訪問看護経験年数の人数は一致させてください。

5 加算の届出状況(平成28年5月時点)について、届出をしている場合は該当欄に○を、また、1か月間の請求実績(平成28年5月請求)について、件数をご記入ください。

介護保険	届け出	5月の請求実績	
特別管理加算 (I・II)			件
ターミナルケア加算			件
緊急時訪問看護加算			件
夜間・早朝、深夜加算	—		回

医療保険	届け出	5月の請求実績	
特別管理加算 (I・II)			件
訪問看護ターミナルケア療養費			件
24時間対応体制加算			件
24時間連絡体制加算			件
緊急時訪問看護加算	—		回
夜間・早朝、深夜訪問看護加算	—		回

6 利用者のうち、40歳以上の実人数と、そのうちの吹田市民の人数をご記入ください(平成28年5月請求)。

	介護保険利用者	医療保険利用者	医療・介護保険併用利用者
利用者実人数			
うち、吹田市民			

7 現在の人員体制で、新規利用者の受け入れは可能ですか。可能な場合、何人程度可能ですか。選択肢から1つ選び、番号をご記入ください。

①受け入れ可能      ②受入れ困難

①受け入れ可能場合、その人数

8 過去1年間に、サービス提供を断ったことはありますか。選択肢から1つ選び、番号をご記入ください。

①断ったことがある      ②断ったことはない

「①断ったことがある」場合、その主な理由を3つ選択肢から選び、番号をご記入ください。

- ①サービス提供の地域外のため
- ②現状の看護職員数では応じられないため
- ③24時間対応が困難であったため
- ④営業日・営業時間以外の訪問依頼であったため
- ⑤サービス・ケア内容が技術的に困難のため
- ⑥訪問看護の必要がなかったため
- ⑦その他

1  
2  
3

  
  


「⑦その他」の場合、理由をご記入ください。

10 医療管理項目への対応状況(○・△・×)と5月の実績件数をご記入ください。  
 (○・・・対応実績あり、△・・・要望があれば対応できる、×・・・対応予定なし)

看護関連	対応状況	5月の実績
経管栄養法(胃ろう含む)		件
在宅中心静脈栄養(IVH)		件
点滴・静脈注射		件
膀胱留置カテーテル		件
腎ろう・膀胱ろう		件
褥創		件
人工肛門		件
人工呼吸器・持続陽圧呼吸		件
在宅酸素療法(HOT)		件
気管カニューレ		件
吸引		件
在宅自己腹膜灌流(CAPD)		件
麻薬を用いた疼痛管理		件
終末期ケア		件
ドレーン管理		件
輸液・シリンジポンプ管理		件
抗がん剤使用患者の管理		件

11 歯科医との連携状況について、選択肢から1つ選び、番号をご記入ください。

- ①利用者の口腔内アセスメントが行われ、必要な方には歯科医との連携がとれている
- ②利用者の口腔内アセスメントは行われているが、必要な方に対する歯科医との連携はあまりとれていない
- ③利用者の口腔内アセスメントはあまり行われていない

12 過去1年間での、看取りの件数をご記入ください。  
 (平成27年6月1日から平成28年5月31日までの期間)

※現在、看取りを行っている患者数及び期間内に看取りを行い亡くなられた患者数の総数

13 事業所運営の今後の方向性について、選択肢から1つ選び、番号をご記入ください。

- ①事業を拡大する(人員増やサービス提供内容の充実)
- ②現状を維持する
- ③事業を縮小する(人員減や受入人数減)

「①事業を拡大する」とお答えになった方について、その主な理由を2つ選択肢から選び、番号をご記入ください。

- ①地域のニーズに対応するため
- ②安定したサービス提供のため
- ③組織(法人)の方針
- ④利用者数を増やしたいため
- ⑤利益を出すため
- ⑥その他

1	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>

「⑥その他」の場合、理由をご記入ください。

「②現状を維持する」とお答えになった方について、その主な理由を2つ選択肢から選び、番号をご記入ください。

- ①利用者の増加が見込まれないため
- ②追加の人材確保が困難なため
- ③組織(法人)の方針
- ④事業拡大または縮小すると、看護の質の確保が図れなくなるため
- ⑤利益が出ないため
- ⑥その他

1	
2	

「⑥その他」の場合、理由をご記入ください。

--

「③事業を縮小する」とお答えになった方について、その主な理由を2つ選択肢から選び、番号をご記入ください。

- ①利用者の確保が難しいため
- ②看護人材不足のため
- ③組織(法人)の方針
- ④利益が出ないため
- ⑤その他

1	
2	

「⑤その他」の場合、理由をご記入ください。

--

14 在宅医療の医療需要に対応していくために必要なことは何だと思えますか。主なもの3つを選択肢から選び、番号をご記入ください。

- ①往診や訪問診療を行うことができる医療機関を増やす
- ②在宅サービス(訪問系のサービス)が提供できる事業所を増やす
- ③夜間でも対応ができる介護サービス事業所を増やす
- ④急変時に対応可能なバックベットの確保する
- ⑤レスパイト入院が可能な施設を増やす
- ⑥ショートステイで受け入れが可能な施設を増やす
- ⑦医師・歯科・薬局・介護事業所間で十分に情報共有を行う
- ⑧市民にかかりつけ医をもってもらう
- ⑨市民に在宅医療の重要性や仕組みを知ってもらう
- ⑩その他

1	
2	
3	

「⑩その他」の場合、理由をご記入ください。

--

15 その他、在宅医療に関することで、ご意見等がありましたらお聞かせください。

--

ご協力ありがとうございました。

●月●日(●)までに、同封の返信用封筒にて投函してください。